

## 製鋼特集の発行にあたって



技術本部 製鋼技術部長  
佐藤 信吾

鉄鋼製品の品質と価格競争力の重要な一端を担う製鋼プロセスは今日まで数々の革新的技術開発と多くの技術改善により目覚ましい発展を遂げましたが、最近一見成熟期に入ったと言われるまでに至っております。しかし、昨今の資源リサイクルや地球環境問題への新たな取り組みに加え、現下の鋼材需要構造の変化や鋼材国際価格の低迷は今後の日本鉄鋼業の行く末に大きな課題を投げかけており、まさに従来とは発想を異にした施策への取り組みが一層必要となってまいりました。とりわけ、製鋼分野は「悪化する原料事情からより良い鉄鋼製品をより安価に造り出す」プロセスに最も深く関わっており、われわれの負っている役割の大きさを新たに認識している次第です。

このような重要な節目の時期に製鋼特集発刊の機会を得ましたことは我々製鋼技術者にとりまして「製鋼技術の先史に学び、将来を考える」絶好の研鑽の場でもあります。

本特集ではこれまで弊社が手がけてまいりました製鋼技術の開発成果の一端を紹介させて戴き、内容を御理解戴くとともに、需要家の皆さまに一層満足戴ける製品造りの確立に向けた今後の取り組みについても展望してまいりたいと思います。具体的には弊社が重点的に取り組んできた需要家の要請に応えたIF鋼等高級鋼種の製鋼技術、最新技術を駆使した操業・品質の高位安定化技術、次世代型連鑄機の開発、スクラップ溶解技術、電炉技術等について総合レビューし、今後の展望をまとめましたので、皆さまの何かのお役に立てば幸甚です。

しかし、鉄鋼業界を取り巻く環境はいよいよ厳しく、また従来に増して多種多様なニーズに対応しうる複合型課題に取り組んでいかねばなりません。このためには鉄鋼メーカー自身の英知と熱意はもちろんのこと、需要家の皆さまと連携を密にするとともに行政や地域と一体となって進めていくことが重要と考えております。今後とも、より一層の御指導、御助言をお願い致します。